

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	吃音		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	二年次		学期及び曜時限	前期 木曜2限 他	教室名	405教室
担 当 教 員	糸賀 亜美	実務経験とその関連資格	医療福祉センターに勤務し、小児への言語聴覚療法の実務経験がある。			
《授業科目における学習内容》						
吃音の定義や症状、評価法や支援について理解し、専門的な知識と技術を習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト(30点)、教場レポート(70点)で評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
【教科書】「標準言語聴覚障害学 発声発語障害学」医学書院						
《授業外における学習方法》						
講義の内容についてノートにまとめる、または資料を読むなどで復習する。						
《履修に当たっての留意点》						
予習、復習を必ず行い、積極的な取り組みを望みます。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	吃音の定義について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	講義の内容についてノートにまとめる、または資料を読むなどで復習する。	
		各コマにおける授業予定	吃音の基礎知識(定義)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	吃音の発生メカニズムについて理解でき、説明できる。	教科書 プリント	講義の内容についてノートにまとめる、または資料を読むなどで復習する。	
		各コマにおける授業予定	吃音の基礎知識(発生のメカニズム)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	吃音の症状と特徴と経過・進展について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	講義の内容についてノートにまとめる、または資料を読むなどで復習する。	
		各コマにおける授業予定	吃音の基礎知識(症状と特徴と経過・進展)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	吃音の症状と特徴と経過・進展について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	講義の内容についてノートにまとめる、または資料を読むなどで復習する。	
		各コマにおける授業予定	吃音の基礎知識(症状と特徴と経過・進展)			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	吃音の検査・評価について理解でき、実施できる。	教科書 プリント	講義の内容についてノートにまとめる、または資料を読むなどで復習する。	
		各コマにおける授業予定	吃音の検査・評価①			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	吃音の検査・評価について理解でき、実施できる。	教科書 プリント	講義の内容についてノートにまとめる、または資料を読むなどで復習する。
		各コマにおける授業予定	吃音の検査・評価②		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	吃音の検査・評価について理解でき、実施できる。	教科書 プリント	講義の内容についてノートにまとめる、または資料を読むなどで復習する。
		各コマにおける授業予定	吃音の検査・評価③		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	吃音の検査・評価について理解でき、実施できる。	教科書 プリント	講義の内容についてノートにまとめる、または資料を読むなどで復習する。
		各コマにおける授業予定	吃音の検査・評価④		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	吃音の検査・評価について理解でき、実施できる。	教科書 プリント	講義の内容についてノートにまとめる、または資料を読むなどで復習する。
		各コマにおける授業予定	吃音の検査・評価⑤		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	吃音の治療について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	講義の内容についてノートにまとめる、または資料を読むなどで復習する。
		各コマにおける授業予定	吃音の治療①小児への支援(環境調整法①)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	吃音の治療について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	講義の内容についてノートにまとめる、または資料を読むなどで復習する。
		各コマにおける授業予定	吃音の治療②小児への支援(環境調整法②)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	吃音の治療について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	講義の内容についてノートにまとめる、または資料を読むなどで復習する。
		各コマにおける授業予定	吃音の治療③小児への支援(流暢性形成訓練・その他)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	吃音の治療について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	講義の内容についてノートにまとめる、または資料を読むなどで復習する。
		各コマにおける授業予定	吃音の治療④成人への支援(流暢性形成訓練)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	吃音の治療について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	講義の内容についてノートにまとめる、または資料を読むなどで復習する。
		各コマにおける授業予定	吃音の治療⑤成人への支援(吃音緩和法・間接的訓練法・セルフヘルプグループ)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	吃音の治療について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	講義の内容についてノートにまとめる、または資料を読むなどで復習する。
		各コマにおける授業予定	まとめ		